

# ～下記の研究を行います～

この調査は本病院の倫理委員会より実施の承認を得ています

## 滲出型加齢黄斑変性患者に対する抗VEGF薬 硝子体内投与による治療の中長期成績の検

### 研究の概要

#### 目的

滲出型加齢黄斑変性は、加齢と共に網膜の中心にある黄斑（視力に最も関係する）に障害を生じる疾患で、近年我国においても著しく増加し失明原因の第4位となっているため、眼科において最も重要な疾患の一つです。

治療としては抗VEGF薬の局所注射が主流ですが、中・長期的な有効性・安全性についてのデータは十分とは言えません。

今回、滲出型加齢黄斑変性と診断され、加療されている患者さんのデータを統計学的解析を行い、個人が特定されない形で学会、学術雑誌に公表することを予定しています。

#### 対象者

- ① 滲出型加齢黄斑変性と診断された患者さん
- ② 当科で1年以上経過観察できた患者さんを対象とします。

#### 研究方法

- ① 対象患者さんの視力、網膜厚の経過、これまでに行った光干渉断層計・視力などの検査データ、治療内容を後ろ向きに解析します。
- ② 検査は通常診療内で行われたものです。
- ③ 今後新たにこの研究のための検査を行うことはありません。

#### 研究内容

- ① 中長期経過における視力の経過を調べます。
- ② 黄斑部の変化（網膜厚、滲出の有無、脈絡膜厚）を調べます。
- ③ 再発に関連する因子を解析します。④患者背景の特徴を調べます。

#### 実施場所

香川大学附属病院眼科

#### 研究の予定対象者数

200名

～研究対象となることを拒否される方、又は問い合わせは下記連絡先までお願いします～

連絡先 香川大学医学部附属病院眼科  
白神 千恵子  
TEL : 087-891-2269